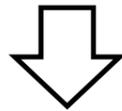


## 確認調査結果の評価と今後の進め方（案）

確認調査の結果の評価を行うとともに、今後の進め方について検討を行った。

### 【確認調査結果の評価】

評価の視点	確認調査結果	適性評価
原子爆弾により多くの人々の日常の営みが一瞬にして破壊し尽されたことを分かりやすく伝えることができるか。	天神町筋の側溝やアスファルト、住居の間口、隣家との境界を示す石材列、土壁や天井が焼け落ちた焼土、土間、炭化した畳、板材等が検出された。	天神町筋の側溝やアスファルト、住居の間口、隣家との境界を示す石材列は、この地がもともと公園ではなく、人々が暮らす町であり、天神町筋沿いに民家が連なっていたことを示すものである。 また、土壁や天井が焼け落ちた焼土、土間、炭化した畳、板材等は、木造家屋が至近距離で炸裂した原爆によって押しつぶされ、焼けたことを示すものであり、原爆の威力や被爆前の人々の日常の営みを想起させるものである。
保存状態は良好か。	過去の整備等の過程で一部毀損しており、虫食い状態で検出された。	被爆遺構は一部毀損していたが、残存している部分の保存状態は概ね良好であり、また、ある程度まとまった形で残っていたことから、展示整備は可能である。
	樹木の根が多く検出された。	根は比較的浅い位置に伸びており、根による遺構の毀損は見られなかったことから、展示整備は可能である。



### 【今後の進め方（案）】

確認調査の結果、この場所にもともと人々の暮らす町があり、人々の日常の営みがあったことを想起させる被爆遺構が検出されたことから、展示整備方針に沿って、右図の点線で示した箇所を展示整備候補範囲とし、今後、具体的な展示方法・施設などを取りまとめた展示整備基本計画を策定することとする。

#### <主な展示内容>

##### ◎住居跡

- ・炭化材（炭化した畳、板材等）
- ・間口（石材列）
- ・土間
- ・焼土（焼け落ちた土壁、天井）
- ・隣家との境界（石材列）

##### ◎旧天神町筋跡

- ・アスファルト
- ・側溝

